

(19)日本国特許庁 (J P)

(12) 公 開 特 許 公 報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平11-192261

(43)公開日 平成11年(1999) 7月21日

(51)Int.Cl.⁶

A 6 1 F 13/15
5/44

識別記号

F I

A 4 1 B 13/02
A 6 1 F 5/44

M
H

審査請求 未請求 請求項の数4 O L (全 8 頁)

(21)出願番号 特願平10-816

(22)出願日 平成10年(1998) 1月6日

(71)出願人 000122298

王子製紙株式会社
東京都中央区銀座4丁目7番5号

(72)発明者 津幡 勝

東京都江東区東雲1丁目10番6号 王子製
紙株式会社東雲研究センター内

(72)発明者 宮田 桂子

東京都江東区東雲1丁目10番6号 王子製
紙株式会社東雲研究センター内

(72)発明者 武末 聡美

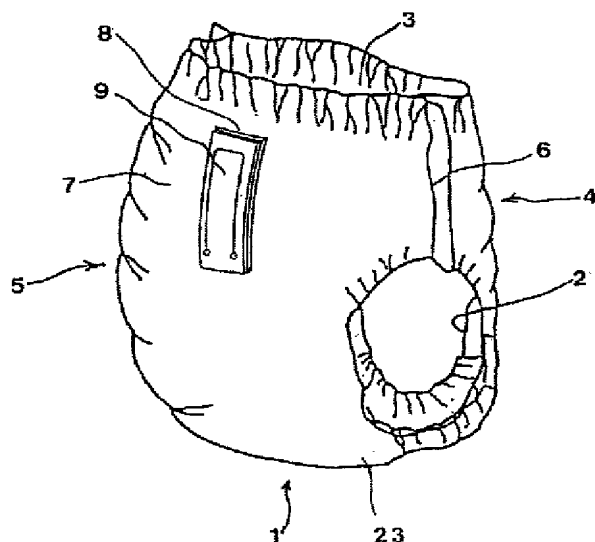
東京都江東区東雲1丁目10番6号 王子製
紙株式会社東雲研究センター内

(54)【発明の名称】 パンツ型使いすておむつ

(57)【要約】

【課題】 使用済みの丸めたおむつを開かないように廃棄できるパンツ型使いすておむつを提供する。

【解決手段】 予めパンツ型に形成された使いすておむつであって、おむつの裏面シート外面に固定テープと補助テープが順次積層されており、固定テープは裏面シートと接する面が接着剤を介して裏面シートに接着固定され、補助テープと接する面には接着剤層が形成されるとともに、補助テープ内にはU字形状等の切れ目が形成されていて、補助テープの外周縁以外に設けられた切れ目の末端部には打ち抜き部分を形成され、補助テープは該切れ目に沿って剥離可能に固定テープに貼着されているパンツ型使いすておむつ。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 液透過性の表面シートと、液不透過性の裏面シートと、これら両シートの上に配置された吸収体とからなり、吸収体の両側縁から延出する前身頃と後身頃の相対する側縁部を接合してウエスト周り開口部と一対の脚周り開口部が形成されたパンツ型使いすておむつにおいて、

該おむつの前身頃側又は後身頃側の裏面シート表面には、おむつの長手方向に細長く固定テープと補助テープが順次積層されており、

該固定テープは、その裏面シートに接する面が接着剤層を介して裏面シートと接着固定され、補助テープと接する面には剥離剤層が形成されており、

該補助テープは、固定テープと接する面の少なくとも一部分に接着剤層が形成されていて固定テープと少なくとも一部分が剥離可能に貼着されており、さらに該補助テープには、その一方の長手方向端部付近に幅方向に形成された第1切り込み線と、該第1切り込み線に連続し、かつもう一方の長手方向端部付近に延びる第2切り込み線とからなる切れ目が形成されており、該第2切り込み線の末端部に矮小な打ち抜き部分が設けられていることを特徴とするパンツ型使いすておむつ。

【請求項2】 前記補助テープは、第1切り込み線が形成されている側の長手方向端部領域が前記固定テープの長手方向端部から延出しており、接着剤層を介して前記裏面シートに接着固定されていることを特徴とする請求項1記載のパンツ型使いすておむつ。

【請求項3】 前記補助テープの切れ目は、第1切り込み線がおむつのウエスト周り開口部側に形成され、かつ第2切り込み線の末端部の矮小な打ち抜き部分がおむつの股下部側に形成されており、第1切り込み線を剥離開始部として、第1切り込み線から第2切り込み線に沿っておむつの股下側に向かって剥離可能であり、次いで連続的に、おむつの股下側からウエスト周り開口部側に向かって剥離可能であることを特徴とする請求項1又は2に記載のパンツ型使いすておむつ。

【請求項4】 前記補助テープは、前記切れ目の第1切り込み線を含む領域及び第2切り込み線の末端部を含む長手方向端部領域の各々に、長手方向に所定長の非接着領域を有することを特徴とする請求項1～3のいずれかに記載のパンツ型使いすておむつ。

【発明の詳細な説明】**【0001】**

【発明の属する技術分野】 本発明は、乳幼児又は失禁者用おむつとして供されるパンツ型使いすておむつであって、更に詳しくは使用後の汚染されたおむつの廃棄にあたり、コンパクトで、かつ汚れがなく衛生的な廃棄処理手段を有し、おむつの装着時には邪魔にならない補助テープの配設されたパンツ型使いすておむつに関するものである。

【0002】

【従来の技術】 従来、パンツ型使いすておむつの廃棄処理手段として、実開平4-117618号公報に胴周り側部の接合部自由端に接着剤塗布部を設け、排泄物を含んだおむつを排泄物が漏れ出さないように丸め、接着剤塗布部を用いて排泄物を内側に包み込んで廃棄する方法が提案されている。これは、胴周り側部にタブを延出させたものであるが、タブを取り付けるためにおむつを形成する素材の幅を広げる必要があるためコスト高となり、更に接着面積も実質上広くはできないという問題もあり、必ずしも十分なものではなかった。

【0003】 また、実公平8-10305号公報にはおむつの外面に細帯状のテープファスナーの一端を固定し、その長さ方向に折り畳んでおむつの背側部中央に位置するように配設し、テープファスナーの長さ方向に排泄物を含んだおむつを丸め、テープファスナーで止めることで丸めたおむつが開かないように排泄物を内側に包み込んで廃棄する方法が提案されている。この場合、テープファスナーを固定端から伸ばした長さがウエスト部の開口部を越え得る長さとなる必要があるため、おむつの装着中には邪魔にならないように折りたたんで配設されており、おむつを丸める方向がおむつの長手方向の場合は簡便で有効な手段であるが、丸める方向が限定されるため、胴周り両側部により排泄物をおむつの内側に包み込むように両側部を固定する手段に用いるには不向きであった。

【0004】

【発明が解決しようとする課題】 本発明は、上記従来の廃棄時に使用される廃棄処理手段を具えたパンツ型使いすておむつの問題点を克服し、装着時には邪魔にならず、かつおむつの長手方向に丸めて廃棄する場合には手早く簡便に丸めたおむつが開かないように固定することが可能なパンツ型使いすておむつを提供するものである。また胴周り両側部により排泄物をおむつの内側に包み込むように両側部を固定する用途にも使用可能な補助テープを取り付けたパンツ型使いすておむつも提供する。

【0005】

【課題を解決するための手段】 本発明は、下記の(1)～(7)から構成されている。

(1) 本発明の第1は、液透過性の表面シートと、液不透過性の裏面シートと、これら両シートの上に配置された吸収体とからなり、吸収体の両側縁から延出する前身頃と後身頃の相対する側縁部を接合してウエスト周り開口部と一対の脚周り開口部が形成されたパンツ型使いすておむつにおいて、前記おむつの前身頃側又は後身頃側の裏面シート表面には、おむつの長手方向に(ウエスト周り開口部側から股下部側に向かう方向に)細長く、固定テープと補助テープが順次積層されており、該固定テープは、その裏面シートに接する面が接着剤層を介して

裏面シートと接着固定され、補助テープと接する面には剥離剤層が形成されており、該補助テープは、固定テープと接する面の少なくとも一部分に接着剤層が形成されていて固定テープと少なくとも一部分が剥離可能に貼着されており、さらに該補助テープには、その一方の長手方向端部付近に幅方向に形成された第1切り込み線と、該第1切り込み線に連続し、かつもう一方の長手方向端部付近に延びる第2切り込み線とからなる切れ目が形成されており、該第2の切り込み線の末端部に矮小な打ち抜き部分が設けられていることを特徴とするパンツ型使いすておむつである。

【0006】(2)本発明の第2は、前記補助テープが、第1切り込み線が形成されている側の長手方向端部領域が前記固定テープの長手方向端部から延出しており、接着剤層を介して前記裏面シートに接着固定されていることを特徴とする前記(1)のパンツ型使いすておむつである。

【0007】(3)本発明の第3は、前記補助テープの切れ目は、第1切り込み線がおむつのウエスト周り開口部側に形成され、かつ第2切り込み線の末端部の矮小な打ち抜き部分がおむつの股下部側に形成されており、使用時には、第1切り込み線を剥離開始部として、第1切り込み線から第2切り込み線に沿っておむつの股下側に向かって剥離可能であり、次いで連続的に、おむつの股下側からウエスト周り開口部側に向かって剥離可能であることを特徴とする前記(1)又(2)のパンツ型使いすておむつである。

【0008】(4)本発明の第3の一つの形態は、前記補助テープの切れ目が、補助テープの一侧縁から幅方向中心部までの第1切り込み線と、該第1切り込み線の幅方向末端から補助テープの長手方向一端部付近までの第2の切り込み線とからなるL字型として形成されていることを特徴とする前記(3)記載のパンツ型使いすておむつである。

(5)本発明の第3の二つ目の形態は、前記補助テープの切れ目は、第1切り込み線が補助テープの側縁に達していないU字型等の形状に形成されており、最初に補助テープの両側縁を残して、2本の第2切り込み線によって分離される内側部分のみを長手方向に沿って剥離し、その後補助テープの両側縁部を折り返して剥離可能であることを特徴とする前記(3)記載のパンツ型使いすておむつである。

【0009】(6)本発明の第4は、前記補助テープが、前記切れ目の第1切り込み線を含む領域及び第2切り込み線の末端部を含む長手方向端部領域の各々に、長手方向に所定長の非接着領域を有することを特徴とする前記(1)～(5)のいずれかに記載のパンツ型使いすておむつである。

(7)本発明の第4の前記所定長の非接着領域は、補助接着剤層を介在させないか、又は補助接着剤層と剥離剤

層との間をカバーテープで覆って形成されていることを特徴とする。

【0010】

【発明の実施の形態】 本発明のパンツ型使いすておむつは、前身頃側又は後身頃側の裏面シート表面に、おむつの長手方向に(ウエスト周り開口部側から股下部側に向かう方向に)細長く、固定テープと補助テープが順次積層されており、固定テープは、その裏面シートに接する面が接着剤層を介して裏面シートと接着固定され、補助テープと接する面には剥離剤層が形成されており、補助テープは、固定テープと接する面の少なくとも一部分に接着剤層が形成されており、さらに、一方の長手方向端部付近に形成された第1切り込み線と、第1切り込み線に連続し、かつもう一方の長手方向端部付近に延びる第2切り込み線とからなる切れ目が形成されている。

【0011】このような構成にすることにより、補助テープは固定テープの表面から剥離可能に固定テープと貼着されており、使用済みのおむつを廃棄する際に、補助テープを切れ目に沿って部分的に、あるいは全体を固定テープの表面から剥離し、おむつを丸めて固定するために使用することができる。

【0012】この場合、補助テープに形成される切れ目は、第1切り込み線をおむつのウエスト周り開口部側に形成し、かつ、補助テープが、第1切り込み線を剥離開始部として、第1切り込み線から第2切り込み線に沿っておむつの股下側に向かって剥離可能であり、次いで連続的に、おむつの股下側からウエスト周り開口部側に向かって剥離可能であるように形成されることが好ましい。

【0013】このような切れ目を形成するためには、基本的には、おむつのウエスト周り開口部側の補助テープの長手方向端部付近において、補助テープの一方の側縁から幅方向の中心部付近にかけて補助テープの幅方向に第1切り込み線を形成し、次いで第1切り込み線の末端部から補助テープの長手方向に沿っておむつの股下側の補助テープの長手方向端部付近にかけて第2の切り込み線を形成するか、あるいは、おむつのウエスト周り開口部側の補助テープの長手方向端部付近において、補助テープの幅方向中心部領域に補助テープの幅方向に第1切り込み線を形成し、次いで第1切り込み線の両末端部から補助テープの長手方向に沿っておむつの股下側の補助テープの長手方向端部付近にかけて2本の第2の切り込み線を形成すればよい。

【0014】このような構成にすることにより、補助テープを剥離した場合、補助テープの長さが元の長さのほぼ2倍になるため、補助テープを丸めたおむつのウエスト周り開口部を越えて裏面シートの表面に接着させ、おむつを丸めた状態で固定することが容易に行えるようになる。

【0015】また、補助テープの第1切り込み線を含む

領域及び第2切り込み線の末端部を含む長手方向端部領域の各々に、長手方向に所定長の非接着領域を設けることが好ましい。このように非接着領域を設けることにより、補助テープ内に摘まり易い舌片部（つまみ部）が形成され、補助テープを第1切り込み線から剥離する場合に剥離が容易になる。また、第2切り込み線に沿ってウエスト周り開口部側から股下方向に剥離した補助テープを第2切り込み線の末端部を境に股下側からウエスト周り開口部方向に反転して剥離する場合に、非接着領域を設けたことにより、第2切り込み線の末端部領域において一時的に剥離抵抗が作用しない状態となるので、剥離する方向を変える時期を容易に知ることが出来、不必要な力を加えることなく容易に剥離することができる。

【0016】続いて、補助テープを股下側からウエスト周り開口部方向に剥離する場合には、ウエスト周り開口部側の端部領域に隣接する領域である第1切り込み線を形成した領域において、剥離抵抗が作用しない状態が生じ、剥離の終点を容易に知ることができ、必要以上に補助テープを剥離してしまうのを防止することができる。

【0017】この場合、第2切り込み線の末端部まで剥離完了し、この末端部を境に股下側からウエスト周り開口部方向に反転する瞬間に、補助テープを剥がそうとして加えた力が第2切り込み線の末端部に集中することで過大な力が作用し、これが補助テープの引裂強度を越えた場合、股下方向に沿って補助テープに新たな切れ目が生じ、場合によっては補助テープが分断され、目的の用途を達し得ない状態を招く恐れがある。この対策として、補助テープの第2切り込み線の末端部に矮小な打ち抜き部分を形成しており、第2切り込み線の末端部に作用する力を分散させ、補助テープ自体に新たな切れ目が生じることなく、目的の用途に合うように確実に剥離することが可能となる。この矮小な打ち抜き部分の形状は、応力集中を緩和する目的であるので、円形であることが好ましく、またその大きさについては、円の直径を0.5～8mm程度とするのが好ましい。打ち抜き部分の面積が小さすぎると、応力集中の緩和が不十分となり、逆に大きすぎると、補助テープの面積が小さくなり過ぎて好ましくない。

【0018】尚、補助テープを剥離する方法は、一般的には上記のように一回方向転換をして行なうのが操作性の点で良好であるが、別の方法として、第2切り込み線の末端部の矮小な打ち抜き部分が設けられている側から補助テープを全幅で剥離して行き、剥離しない接着部のみを残して剥離を完了し、その後で第1、第2切り込み線に沿って補助テープを分離する方法を用いても差し支えない。補助テープの剥離方法については、特に限定するものではない。

【0019】また、非接着領域の面積は、補助テープ全幅で、長手方向に夫々2～20mm程度の長さとして設けるのが好ましいが、補助テープの大きさにも左右され

るので、特に限定するものではない。長手方向の長さが短過ぎると前記のような非接着領域の効果が失われ、逆に長過ぎると補助テープの接着部の面積が小さくなり過ぎて好ましくない。

【0020】また、補助テープは、第1切り込み線が形成されている側の長手方向端部領域が固定テープの長手方向端部から延出しており、接着剤層を介して裏面シートに接着固定されていることが好ましい。このような構成にすると、補助テープが裏面シートに強固に接合されるため、補助テープを剥離する場合に力を加減する必要が無く、容易に剥離することができる。

【0021】また、補助テープは、上記のように切れ目に沿って剥離することなく、一枚のテープの状態固定テープから剥離し、使用済みのおむつの廃棄に使用することができる。この場合、補助テープは裏面シートのどの部分にも接着可能であるため、軟便等を含む使用後のおむつを、排泄物をおむつの内側に包み込むようにして胴周り両側縁部を固定する手段に用いる場合に有効である。

【0022】尚、補助テープに形成される切れ目は、補助テープ自体が分断することなく、一方向に向かって剥離し、次いで反対方向に向かって剥離することが可能であれば、補助テープの剥離方向がおむつの幅方向となるように配置することや、あるいは第1切り込み線がおむつの股下側になるように配置することもできるが、本発明の目的を最も効果的に実現するためには、第1切り込み線がおむつのウエスト周り開口部側となり、第2切り込み線の矮小な打ち抜き部分が設けられた末端部が股下側になるように補助テープを配置するのが好ましい。つまり、補助テープを最初にウエスト周り開口部側から股下側に向かって剥離し、次いで股下側からウエスト周り開口部側に向かって剥離することができるような切れ目を形成することが好ましい。これは、おむつを廃棄する際には、おむつの股下部側からウエスト周り開口部側に向けておむつを丸めて固定する方法が漏れが少なく多用されている方法であることによる。

【0023】本発明のおむつの裏面シートの材質は、従来から使いすておむつに一般的に用いられているものを用いれば良く、ポリエチレン等の液不透過性フィルム、液不透過性フィルムに不織布または織布を貼り合わせてある素材、また、防漏性のある不織布、織布等からなり、特に制限はなく、吸収体中の水分がおむつ外側にしみ出さないものであれば良い。また、布状外観を与えるために模様状にエンボス処理されたり、さらに艶消し仕上げされていても構わない。また、フィルムを使用する場合は、不透過性でありながら、水蒸気だけを透過させる公知の透湿性フィルムを使用しても構わず、ムレを防止することから好ましい。また、着用者にフィットするように伸縮性のある素材であっても良い。ポリウレタン系フィルム、天然ゴムシート、発泡シート等の使用が考

えられ、さらに、伸縮性不織布などを貼りあわせた素材でも良い。

【0024】本発明のおむつの補助テープと固定テープの材質は、フィルム状でも不織布状でも、或いはこれらの単体でも複合体でも良く、好適な材質として、補助テープでは延伸ポリプロピレンフィルム、未延伸ポリプロピレンフィルム等が、固定テープでは延伸ポリプロピレンフィルム、未延伸ポリプロピレンフィルム、スパンボンド不織布、スパンボンド不織布にポリエチレンラミネートしたもの等が挙げられる。

【0025】本発明のおむつの補助テープと固定テープに関わる接着剤層と補助接着剤層に用いる接着剤としては、アクリル酸エステル系接着剤、天然ゴム系接着剤、合成ゴム系接着剤等が使用可能である。また、剥離剤としては、シリコン系剥離剤、長鎖アルキルペンダント型ポリマー等が使用可能である。

【0026】

【実施例】 以下に本発明の実施例を示す図面を参照して本発明を詳細に説明する。図1は、本発明のパンツ型使いすておむつの斜視図である。図1において、本発明のパンツ型使いすておむつ1は、脚周り開口部2、ウエスト周り開口部3を有し、左右の前記脚周り開口部の間に延びて形成された前身頃4と後身頃5はサイドシーム6により接着閉鎖されており、後身頃5の外表面を形成する裏面シート7上にはおむつの長手方向に沿う中央部に固定テープ8が配置され、更に固定テープ8上には補助テープ9が配置されている。

【0027】図2は、裏面シート7上に固定テープ8及び補助テープ9が積層された状態を示す、本発明のおむつの長手方向に沿った横断面図で、裏面シート7上に固定テープ8が配置され、固定テープ8の裏面シート7と向かい合う側に設けられた固定接着剤層10によって裏面シート7に接着固定されており、更に固定テープ8の表面に設けられた剥離剤層11を介して固定テープ8上には、補助接着剤層12を有する補助テープ9が貼着されており、補助接着剤層12と剥離剤層11が接し、これにより補助テープ9は固定テープ8から剥離可能となるように貼着されている。また、補助接着剤層12には、部分的に接着剤非塗布部を設けることによって、ウエスト周り開口部側と股下側に、各々非接着領域13及び14が形成されている。

【0028】またこの例では、裏面シートの材質は熱可塑性樹脂からなる合成繊維から形成された不織布、補助テープ9の材質は未延伸ポリプロピレンフィルム、固定テープ8の材質としては延伸ポリプロピレンフィルムを使用し、固定接着剤層10はアクリル酸エステル系接着剤、補助接着剤層12はアクリル酸エステル系接着剤、剥離剤層11としてはシリコン系剥離剤を用いているが、これらは特に限定されるものではなく、発明の実施の形態の項に記載したような物の中から適宜選択して使

用可能である。

【0029】図3に示すものは、非接着領域の構造が図2とは異なる本発明の例であり、補助接着剤層12を部分的に覆うカバーテープ15を配置することによってウエスト周り開口部側と股下側の各々に非接着領域13、14が設けられている。

【0030】図4に示すものは、図2及び図3とは異なる本発明の例であり、補助テープ9は、ウエスト周り開口部側において、その長手方向端縁が固定テープ8の端縁16から延出し、裏面シート7上に接着固定されている。

【0031】図5は、図2に示した、裏面シート7上に固定テープ8及び補助テープ9を積層した状態を正面から見た平面図であり、おむつのウエスト周り開口部側の補助テープ9の長手方向端部付近において、補助テープ9の一方の側縁から長手方向中心線付近にかけて補助テープ9の幅方向に第1の切り込み線18が形成され、次いで第1切り込み線18の補助テープ9の幅方向末端部から長手方向に沿っておむつの股下側の長手方向端部付近にかけて第2切り込み線17が形成され、全体としてL字型の切れ目が形成されている。さらに、補助テープ9のウエスト周り開口部側の第1切り込み線18を含む領域に非接着領域13が形成され、股下側の第2切り込み線17の末端部の矮小な打ち抜き部19を含む長手方向端部領域に非接着領域14形成されている。また、この例における補助テープ9と固定テープ10の形状は、いずれもおむつの縦方向に長い矩形であるが、必ずしもこの二つは同寸法である必要はなく、形状も細長い形状であれば矩形に限定されるものではない。

【0032】図6も図2に示したものの平面図であるが、図5とは異なる本発明の例であり、おむつのウエスト周り開口部側の補助テープ9の長手方向端部付近において、補助テープ9の長手方向に沿う中心部領域に補助テープ9の幅方向に第1の切り込み線18が形成され、次いで第1切り込み線18の両末端部から補助テープ9の長手方向に沿っておむつの股下側の補助テープ9の長手方向端部付近にかけて2本の第2切り込み線17が形成され、全体としてU字型の切れ目が形成されている。図5との基本的な違いは、第1切り込み線が補助テープの側縁に達していない形状であり、補助テープの両側縁を残して2本の第2切り込み線17によって分離される内側部分のみを長手方向に沿って剥離し、この部分を折り返し可能な形状となっている点である。また、補助テープ9のウエスト周り開口部側の第1切り込み線18を含む領域に非接着領域13が形成され、股下側の第2切り込み線17の末端の打ち抜き部19を含む長手方向両端部領域に非接着領域14が形成されている。

【0033】図7は、図4に示した、裏面シート7上に固定テープ8及び補助テープ9を積層した状態を正面から見た平面図であり、図6に示した場合と同様の切れ目

及び非接着領域が形成されている。さらに、補助テープ9のウエスト周り開口部側の長手方向端部領域が固定テープの長さ方向端部16から延出し、裏面シート7に接着固定されている。この例では、補助テープを剥離する際に、補助テープの長手方向端部の剥離しない接着部が外れにくく、補助テープの剥離操作が容易である。

【0034】図8～図10は、図6に示した補助テープ9に形成される切れ目と類似した本発明の例を示したもので、図8はU字型に近い角が直角の切れ目の形状を示し、図9はΩ字型に近い切れ目の形状を示し、図10は凸型の突起部を有する切れ目の形状を示している。

【0035】図11は、図5の補助テープ9に形成された切れ目の一部を変形した本発明の例を示したもので、切れ目の第2切り込み線がミシン目状に設けられている。図12は、図6の補助テープ9に形成された切れ目の一部を変形した本発明の例を示したもので、切れ目の第2切り込み線がミシン目状に設けられている。この例の補助テープは、切り込み線によって補助テープを分離しないで使用する場合等に便利である。

【0036】図13は、図2に示した補助テープ9の一部分を固定テープ8から引き剥がし、残りの部分が固定テープ8上に貼着された状態を示す、おむつの長手方向に沿った横断面図である。補助テープ9は、ウエスト周り開口部側の長手方向端縁20領域が補助接着剤層12を介して固定テープ8に貼着された部分を剥離しない接着部21として残して、固定テープ8の上方に離間し、離間した補助テープ9の自由端22を含むウエスト周り開口部側の非接着領域13と、股下側の非接着領域14の間には、長手方向に丸めた使用済みのおむつを開かないように補助テープ9で固定する際の接着固定剤として作用する補助接着剤層12を有している。

【0037】図14は、図4に示した補助テープ9の一部分を固定テープ8から引き剥がし、残りの部分が裏面シート7上と固定テープ8上に貼着された状態を示すおむつの長手方向に沿った横断面図である。補助テープ9は、ウエスト周り開口部側の長手方向端縁20領域が補助接着剤層12を介して固定テープ8に貼着された部分及び固定テープ8上に貼着された一部分を剥離しない接着部21として、固定テープ8の上方に離間し、離間した補助テープ9の自由端22を含むウエスト周り開口部側の非接着領域13と、股下側の非接着領域14の間には、長手方向に丸めた使用済みのおむつを開かないように補助テープ9で固定する際の接着固定剤として作用する補助接着剤層12を有している。

【0038】図15は、図1～図14に示した補助テープ9を、その長手方向端部領域が固定テープ8及び／又は裏面シート7上に接着された状態のものを固定テープ8から剥離し、長手方向に丸めた使用済みおむつを開かないように固定させた状態を示す斜視図で、補助テープ9の自由端22を含むウエスト周り開口部側の非接着領

域13と、股下側の非接着領域14の間に設けられた補助接着剤層12によって固定されている。

【0039】図16は、図1～図14に示した補助テープ9を、上記のように切れ目に沿って剥離することなく、一枚のテープの状態で固定テープ8から完全に剥離し、使用済みで特に軟便などの排泄物を含んだおむつを長手方向に丸め、更に、胴周り両側部により排泄物をおむつの内側に包み込むように閉じ、これを開かないように補助テープ9によって固定した状態を示す斜視図で、補助テープ9は股下側の非接着領域14を摘み部として剥離し、切れ目は分離しないように1枚のテープ状物の形態を維持したまま再度貼り付けられている。

【0040】

【発明の効果】 上述のように、本発明のパンツ型使いすておむつは、その裏面シート表面に特定形状の切れ目を有する補助テープが取り付けられており、補助テープは、この切れ目に沿って剥離することにより長さが約2倍に延びるため、使用済みのおむつを廃棄する際に、補助テープを丸めたおむつの一方の身頃側からウエスト周り開口部を越えて延ばし、もう一方の身頃側の裏面シート表面に接着させ、おむつを丸めた状態で固定する操作を容易に行うことができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明のパンツ型使いすておむつの斜視図。

【図2】裏面シート上に固定テープ及び補助テープが積層された状態を示す、本発明のおむつの長手方向に沿った横断面図。

【図3】裏面シート上に固定テープ及び補助テープが積層された状態の、図2とは異なる本発明の例を示すおむつの長手方向に沿った横断面図。

【図4】裏面シート上に固定テープ及び補助テープが積層された状態の、図2及び図3とは異なる本発明の例を示すおむつの長手方向に沿った横断面図。

【図5】裏面シート上に固定テープ及び補助テープが積層された状態を示す図2の平面図。

【図6】図5とは異なる本発明の例であって、裏面シート上に固定テープ及び補助テープが積層された状態を示す図2の平面図。

【図7】裏面シート上に固定テープ及び補助テープが積層された状態を示す図4の平面図。

【図8】図6又は図7のものと異なる本発明の補助テープの切れ目の形状の例を示す図2の平面図。

【図9】図6、図7又は図8とは異なる本発明の補助テープの切れ目の例を示す図2の平面図。

【図10】図6、図7、図8又は図9とは異なる本発明の補助テープの切れ目の例を示す図2の平面図。

【図11】図5の補助テープの切れ目の一部をミシン目に変更した例を示す図2の平面図。

【図12】図6の補助テープの切れ目の一部をミシン目に変更した例を示す図2の平面図。

【図13】図2に示した補助テープの一部分を固定テープから剥離した状態を示すおむつの長手方向に沿った横断面図。

【図14】図4に示した補助テープの一部分を固定テープから剥離した状態を示すおむつの長手方向に沿った横断面図。

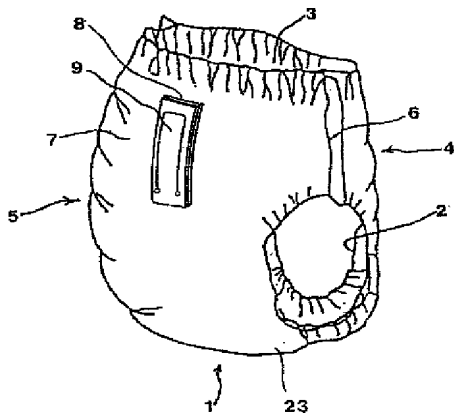
【図15】図6に示した補助テープを固定テープから剥離し、長手方向に丸めたおむつに貼着しておむつを固定させた状態を示す斜視図。

【図16】図6に示した補助テープを切れ目に沿って剥離することなく、一枚のテープの状態で固定テープから完全に剥離し、長手方向に丸めたおむつを、胴周り両側部により包み込んで固定させた状態を示す斜視図。

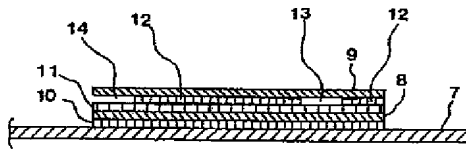
【符号の説明】

- 1：パンツ型使いすておむつ
- 2：脚周り開口部
- 3：ウエスト周り開口部
- 4：前身頃
- 5：後身頃
- 6：サイドシーム
- 7：裏面シート
- 8：固定テープ
- 9：補助テープ
- 10：固定接着剤層
- 11：剥離剤層
- 12：補助接着剤層
- 13：ウエスト周り開口部側の非接着領域
- 14：股下側の非接着領域
- 15：カバーテープ
- 16：固定テープの端縁
- 17：第2切り込み線
- 18：第1切り込み線
- 19：第2切り込み線の末端部の矮小な打ち抜き部分
- 20：補助テープの長手方向端縁
- 21：剥離しない接着部
- 22：自由端
- 23：股下部

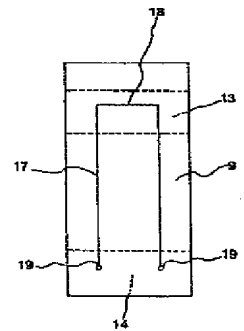
【図1】



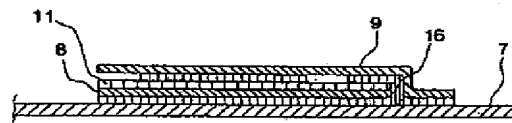
【図2】



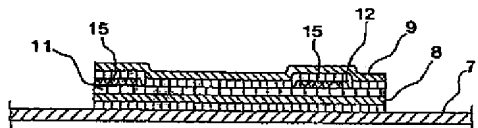
【図8】



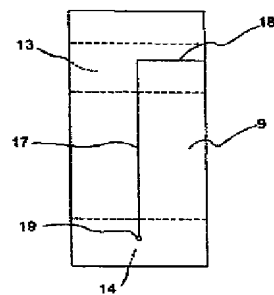
【図4】



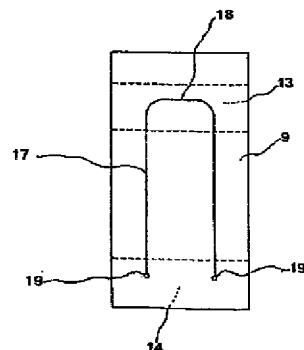
【図3】



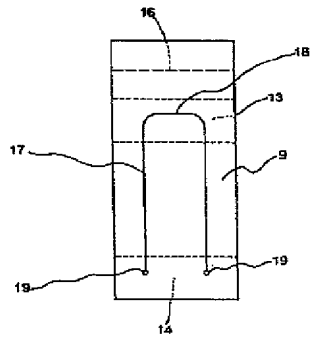
【図5】



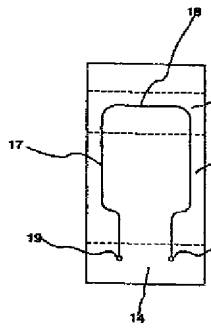
【図6】



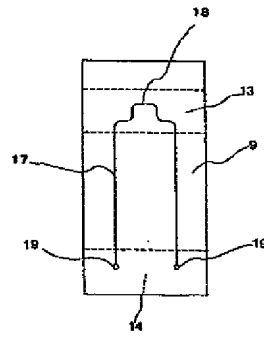
【図7】



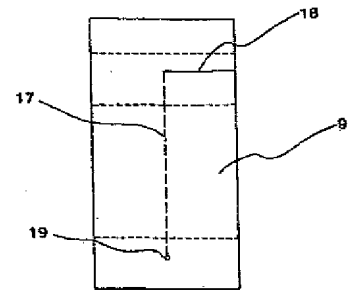
【図9】



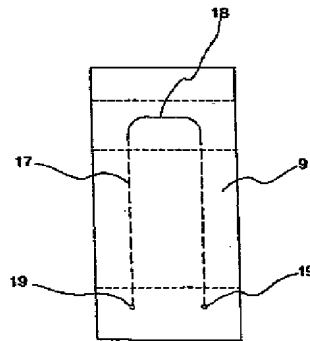
【図10】



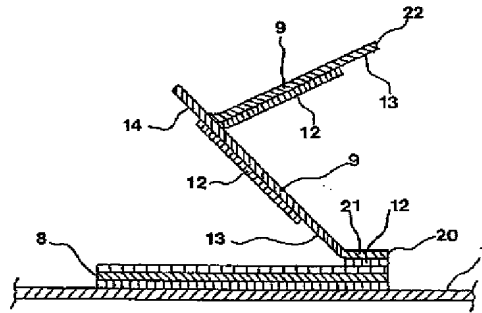
【図11】



【図12】

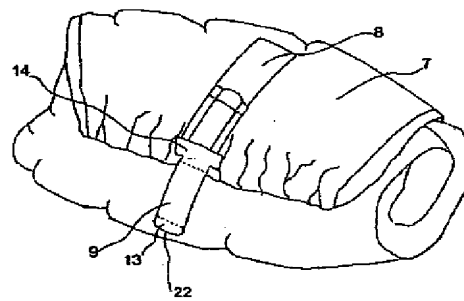
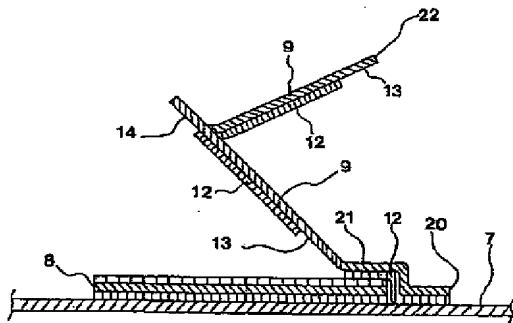


【図13】



【図15】

【図14】



【図16】

